

戦争と暮らし・標語のはんらん

戦争は、徐々に人々の生活に暗い影を落としていった。軍部主導の大東亜共栄圏建設の軍事行動が推し進められた。

物資・人心などについて

「ほしがりません勝つまでは」 ガソリンの一滴は血の一滴
 「捧げよ感謝守れよ銃後」 己の感激を増産へ」「贅沢は敵だ」
 「撃ちてし止まむ」などの戦意高揚標語がはんらんした。

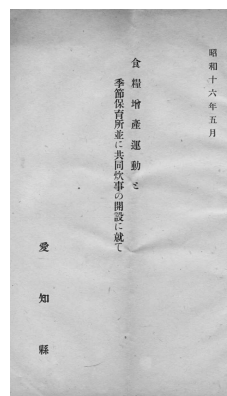
- 1928年 防空演習開始
- 1934年 総力戦体制の提唱
- 1935年 大日本国防婦人会結成
- 1936年 2・26事件
- 1937年 盧溝橋事件（日中戦争へ）燈火管制演習
国民精神総動員運動開始
- 1938年 国家総動員法 国策代用品時代へ
- 1939年 第2次世界大戦勃発 国民徴用令
価格統制令 銃後奉公会発足
- 1940年 日独伊三国同盟 大政翼賛会 砂糖切符制
米購入通帳制 ガソリン統制
- 1941年 米穀配給制 鉄門・鉄柵供出 食糧増産運動
寺院の共同炊事場と合宿所保育所設立
大東亜戦争（太平洋戦争）開始
- 1942年 衣料品切符制 味噌・醤油通帳制 金属回収令
神社の銅製品回収 アメリカ軍本土初空襲
- 1943年 勤労挺身隊結成 出陣学徒壮行会
寺院の梵鐘供出 ガラス障子に貼紙
- 1944年 学童集団疎開 学徒動員令 女子挺身隊
B29、マリアナ基地から日本空襲開始
- 1945年 日本全土大空襲 家屋の強制疎開
原爆投下 終戦の詔 ポツダム宣言受諾

「尋常小学校」から「国民学校」へ。軍事教練を小学生も受けるようになった。

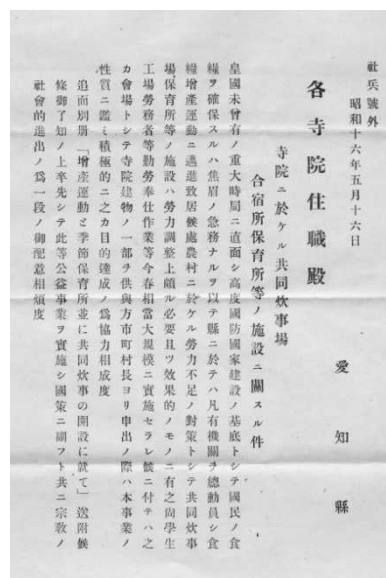
浜松復興記念館蔵



『ピンで精米』
七分つき米が奨励された。
浜松復興記念館蔵



愛知県通達の『食糧増産運動と
季節保育所並に共同炊事場開
設に就て』
浄慈院蔵



住職への愛知県の通達は、
兵役による労働人口減少
の回避が書かれている。
浄慈院蔵